

平成 25 年 12 月 7 日

北海道支部大会における SCATT の導入について

日本学生ライフル射撃連盟 北海道支部

平成 25 年度幹事長 佐々木智也

現在北海道支部では、主にエアライフル(以下 AR)を所持していない新入生が AR を所持するまでの間、支部大会ではビームライフル(以下 BR) 競技を行っております。

土橋支部長より、北海道支部大会におけるビームライフル競技を、SCATT SHOOTER TRAINING SYSTEMS(以下 SCATT) を使った競技会に変更する案が出されましたのでご報告します。

理由は以下のものと伺っております。

- ・ BR は少年が扱うもので国体でも成年の種目は行われていない
- ・ AR と BR ではトリガーが大きく違うため、導入期から同じもので慣れておくべき
- ・ 日ラでも SCATT を使った強化を行っている
- ・ 北海道には SCATT が 4 台あり、全国に先駆けて取り入れていくべき

競技を行うにあたっては SCATT を土橋支部長から 1 台、北海道大学から 2 台、北海学園大学から 1 台お借りする必要があります。

この場では報告に留めますが、今後学連、各大学でよく協議した上で結論を出して頂きたいと考えております。

以上